

ベルンドルフ市との交流

花巻市（旧大迫町）とオーストリア・ベルンドルフ市との友好都市交流は、早池峰山はやちねさんに咲くハヤチネウスユキソウとヨーロッパ・アルプス山脈に咲くエーデルワイスがよく似ているというきっかけから、1965年（昭和40）に姉妹都市締結ていけつを行い交流が始まりました。

1970年（昭和45）の締結5周年には、記念モニュメント建設のため、女性建築家セルマ・ラストフカ氏が来町し設計。翌年には、その設計と大迫町内の職人によって「大迫町立山岳博物館おおはさまちょうりつさんかくはくぶつかん」が建設されました。

1980年（昭和55）の締結15周年では、大迫小学校とベルンドルフ市第1小学校・第2小学校と姉妹校締結を行いました。同年に、ベルンドルフ市へオーストリアワインの醸造技術じょうそうを学ぶため、ぶどう酒醸造学校へワイン留学生を派遣しています。

1985年（昭和60）の締結20周年には、ベルンドルフ市から市長をはじめとした訪問団一行が大迫町に来町し、共に20周年を祝いました。これ以降、5年ごとに大迫町とベルンドルフ市との訪問団が互いに行き来する交流が始まりました。この交流は、市町村合併後の花巻市でも継続され、2020年（令和2）の友好都市締結50周年には、ベルンドルフ市からの公式訪問団を迎えました。次の55周年は花巻市から公式訪問団がベルンドルフ市へ訪れる予定です。